

ゴーヤ

池松 孝子

かつての「苦瓜」より今はゴーヤとかゴーヤーの方が一般的であろうか。

2001年の沖縄を舞台にした連続テレビ小説「ちゅらさん」の影響か、沖縄料理ブームの影響か、全国的に知名度をあげたといわれる。体を冷やす作用があり、夏バテに効くとか、健康食品としてのブームにのったということもあるう。

人体に対する医学的有用性は確認できていないそうだが、マウスなどの動物実験では血糖値低下、制癌作用などがいわれているようだ。因みに5月8日は「ゴーヤの日」。しかし、これではちよつと時期的に早いということもあつて、ひっくり返して8月5日を「ゴーヤの日」としたと聞いたことがある。

我が家の前、大きな道路を隔てた向かいがS音楽大学。ここの事務室は一階にある。西向きで夏になるといかにエアコンを使用しても、さぞ暑かろうと気の毒に思いながら見ていた。20メートル以上は続く長い窓際一面に沿つて5、6月ごろからゴーヤの苗が数年前から、百本以上植えられるようになった。見事なグリーンカーテンだが、この炎天の照り返しはうまく遮られているのだろうか。さらに、あの本数のゴーヤから収穫される実はどう処理されているのだろうかなどちよつと気になると言っていたら、先ほど二、三人の警備員がレジ袋のようなものを手に、その周りを歩いていて、何十個と言わず収穫されるだろうゴーヤの実はどこへ行くのだろう。

窓すべて覆ひ尽くしてゴーヤかな 小山 正見

私もゴーヤを育ててみたことがある。棒や網に這わせる。実は未熟な状態では緑、熟してくるとオレンジ色になる。青い実の綿の中の白い種は未熟で、蒔いたとしてもほぼ発芽しない。入手した種は一晩水に浸し、十分に水分を吸わせる。植えた後も発芽してからも、とにかく水やりが必須。はじめはカーテンと言うにはさみしく葉と葉の隙間もあったが、気温が上がるにつれて密集した。一年目は結構たくさん収穫できた。ただ連作障害が問題だ。